

講義コード	15E2310000
講義名称	公的扶助論 A <春>
科目英文名	Public Assistance A
開講責任部署	社会学部 ソーシャルデザイン学科
代表ナンバリングコード	SOCW2510
単位数	2.0
時間割	春学期: 火曜日 5 時限
講義開講時期	春学期

## 担当教員

氏名
忠岡 一也

授業形態	講義	実務経験のある教員による授業① <small>ソーシャルワーカーとして相談支援に取り組んできた教員が、その経験を活かして、貧困状態にある人の生活実態や生活課題を踏まえ、貧困に係る法制度と支援の仕組み、支援方法等について講義する。</small>
------	----	---

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。 コメントシート	小レポート/小テスト
---------------	---	------------

講義・演習概要	<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>貧困や公的扶助の概念を踏まえ、貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境、貧困の歴史と貧困観の変遷について理解する。また、貧困に係る法制度と支援の仕組み、貧困による生活課題を踏まえ、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>①貧困の概念、②貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境、 ③貧困の歴史、④貧困に対する法制度、⑤貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割</p>
学習（到達）目標	<p>[授業修了時の達成課題（到達目標）]</p> <p>①貧困や公的扶助の概念を踏まえ、貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境について理解する。 ②貧困の歴史と貧困観の変遷について理解する。 ③貧困に係る法制度と支援の仕組みについて理解する。 ④貧困による生活課題を踏まえ、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する</p>

## 講義・演習計画

回	内容
第1回	1 貧困の概念
第2回	2 貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境
第3回	3 貧困の歴史①：貧困状態にある人に対する福祉の理念
第4回	4 貧困の歴史②：貧困観の変遷、貧困に対する制度の発展過程
第5回	5 貧困に対する法制度①：生活保護法
第6回	6 貧困に対する法制度②：生活困窮者自立支援法
第7回	7 貧困に対する法制度③：低所得者対策
第8回	8 貧困に対する法制度④：ホームレス対策
第9回	9 貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割①：貧困に対する支援における公私の役割関係
第10回	10 貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割②：国、都道府県、市町村の役割
第11回	11 貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割③：福祉事務所の役割、自立相談支援機関の役割
第12回	12 貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割④：その他の貧困に対する支援における関係機関の役割、関連する専門職等の役割
第13回	13 貧困に対する支援の実際①：社会福祉士の役割

第14回	14貧困に対する支援の実際②：貧困に対する支援の実際（多職種連携を含む）
第15回	15まとめ

## 成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	50%
レポート	20%
その他	30%

成績評価の方法（コメント）	試験の結果にレポート提出状況及び授業課題への取り組み状況等を加味して単位認定する。詳細は授業初回に説明するため、初回授業には必ず出席すること。
---------------	---

## テキスト

	著者	タイトル	教科書購入区分	ISBN	出版社	備考
1.	福祉臨床シリーズ編集委員会 編・阿部裕二 編	新・社会福祉士シリーズ 16 貧困に対する支援 [第2版]	大学オンライン販売	978-4-335-61235-0	弘文堂	2026年01月刊行
2.	生活保護制度研究会 編集	保護のてびき令和7年度版	大学オンライン販売	978-4-474-09773-5	第一法規出版	

参考文献	生活保護手帳 別冊問答集 中央法規出版 Q&A生活保護手帳の読み方・使い方 [第2版] 吉永純 明石書店 生活保護と貧困対策-その可能性と未来を拓く-岩永理恵、卯月由佳、木下武徳 有斐閣 押さえておきたい公的扶助・生活保護行政 元田宏樹、松浦賢治、門井弘明 ぎょうせい 健康で文化的な最低限度の生活（1～13巻）柏木ハルコ 小学館 THE BIG ISSUE JAPAN（ビッグイシュー日本版） ※参考文献については、購入の必要はありません。
事前および事後学習の指示	公的扶助論の中核である生活保護制度は歴史的にも古く、また現行制度はその上に成立していることから複雑で精緻な制度です。専門職として実践力を期待される重要な学習分野です。予習・復習を繰り返して、各回の講義を理解するよう努めてください。本講義は、国家資格である社会福祉士、精神保健福祉士に加え、任用資格である社会福祉主事の要件科目です。そのため、これらの資格を目指す熱意と意欲を重視します。
学習時間	事前学習時間：30時間 事後学習時間：30時間
キーワード	公的扶助理念の発達、概念と範囲、役割と意義 低所得問題対策の概要 生活保護制度のしくみ 生活保護の最近の動向 生活保護法及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方

【社会人の方へ】「公的扶助論A」（春）を聴講することで、秋学期科目「公的扶助論B」（秋）の理解をより深めることができます。